

様式 A-1  
(FY2018)

平成 30 年 10 月 1 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 香川県立高松桜井高等学校 ・ 八田 由美
2. 講師氏名: Dr. RAJPUT, S. K.
3. 同行者氏名: 的場 修 教授
4. 実施日時: 平成 30 年 10 月 1 日 (月) 15:45~ 17:15
5. 参加生徒: 1 年生 1 人、 2 年生 5 人、 3 年生 1 人 (合計 7 人)  
備考: (普通科の生徒で希望者)
6. 講義題目: Encryption by optical means (光学的手法による暗号化)
7. 講義概要:
  1. 現在研究されている神戸大学の紹介
  2. インドについて(地理、言語、文化、風景などの紹介)
  3. 研究について
    - ・暗号化についての基本
    - ・光学的手法を用いた暗号化技術について
    - ・音声の光学的暗号化について
  4. 質疑応答
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
  - (1) 講義時間 60 分      質疑応答時間 30 分
  - (2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講義    ホログラムの実物をまわしてみせいただく
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
専門的な用語や概念などについて、同行者による説明のサポートがありました
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講師から、事前に話題に上る専門用語を知らせていただき、用語集を作って事前配布した。生徒はその用語集を予習して講義に臨んだ。
10. その他特筆すべき事項:  
講師の方と事前にメールを通じて、なるべく画像や実験など見てわかるものを多用していた

だけのようにお願いしていた。また、同行者の方が専門的な内容について日本語で説明して下さい、聞いていた生徒にとってはとても助かったようです。「暗号化」という難解な内容であったが、身近なところでも使われている技術と知り、興味を惹かれたようでした。もう少し事前の学習を丁寧に行っておくと、当日参加することのハードルが下がるのではないかと思います。